* = /1\#		 等専門学校	: [開講年度	1.000	20年度 / 2	 2017年度)	担	 業科目	体育 I		
科目基礎		ナ マト コナイン	. 1	刑冊十/支	 	- ブナ/文(4	-U1/ 十/文)	1又	<u>未作口</u>	MH 1		
	ビ 再料 	0040					NOE /		6П. / У	liter		
	4目番号 0010 mm 1 mm 1 mm 1 mm 1 mm 1 mm 1 mm						科目区分 単位の種別と単	/ **/	一般/必			
授業形態			授業					112安X	履修単位	; ∠		
開設学科			創造工学科(一般科目)					対象学年 1 週時間数 前期:2 後期:2				
開設期			通年					前期:2 後期:2				
教科書/教材 なし												
担当教員		中島 広基	,多賀 個	建								
到達目標	票											
健康・安全 すすんで係 目標とする	健康の増進と	Oいての理解 ≤体力の向上	と運動(を図り、	の合理的なる。	実践を通 生涯を通	して、計画じて明るく	的に運動する習慣 豊かな活力ある生	を身に 活を営	つけ、集団 むことがて	IIにおける責任と義務を果たし、自ら きる能力や態度を身につけることを		
ルーブリ	ノック											
			理想	的な到達レ	ベルの目	ョ安	標準的な到達し	ベルの目]安	未到達レベルの目安		
運動技能・意欲(主体性)			多様な種目において高い意欲を持って取り組むとともに高い技能を 習得できる。			多様な種目において意欲を持って 取り組むとともに標準的な技能を 習得できる。			意欲を持って運動に取り組むことができず、基本的な技能を習得できない。			
自主的継続的学習(主体性、合意 形成、チームワーク)				自ら進んで健康増進や体力向上を 図り、継続的に学習を行うことが できる。			教員の指示によ 向上を図り、継 ことができる。					
安全管理行動(主体性、合意形成、チームワーク)							自己や周囲の安 活動を行うこと 避することがで	ができ、	意しながら 危険を回	自己の安全に留意した活動を行うことができない。		
集団行動力(主体性、合意形成、 チームワーク)				集団の目指す方向性を自ら示し、 他者の意見も尊重しつつ適切なコ ミュニケーションをとりながら協			集団の目指す方 囲と適切なコミ とりながら協調 とができる。	ュニケ-	-ションを	、周囲と適切なコミュニケーショ		
学科の至	 達日煙T	 目との関			//	00	1			, 5 = 2.3		
教育方法		マローの区	1/1\									
概要	<u> </u>	各種スポんで健康る。	ーツ活動 の増進 o	動を通じて、 と体力の向_	健康・	安全や運動 、生涯を通	についての理解と じて明るく豊かな	計画的(活力あ ⁾	に運動する る生活を営	習慣を教授するとともに、自らすす むことができる能力や態度を育成す		
授業の進め	め方・方法	各種スポード付けに	ついても	ち、安全面を	を考え行	動できるな	 なって準備運動・ ど、自主的な取り ため担当教員の指	組み・	運営ができ	形式と授業を進め、道具の準備や後 るようにする。なお、授業計画につ		
注意点		授業を受	けるにも	あたっては、	運動着	、屋内·屋外	運動靴を用意する	ること。	柔道は男芸	女ともに必修です。 持ち、予備知識を得ておくこと。		
授業計画	 bi	10.70\ H	- 1 1		/				p.			
人不可世		週	授業内	 容				調ブレ	 の到達目標	=		
		<u> </u>	ادانجدا	<u> </u>				・1学年前期体育の位置づけを理解することができる				
前期	1stQ	1週	前期ガイダンス・ストレッチ運動・集				団行動	。 ・身体 備がで	・身体の筋肉・関節の柔軟性を高め安全に運動する準備ができる。 ・集団行動時の整列が迅速的確にできる。			
		1 / 1/51	———— 体力測 施)	カ測定(天候状態を考慮し、屋外種目と連動し)								
			<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	" 'フトテニス(バドミントン)①(天候状態を 実施種目を決定)			候状態を考慮し	・ソフトテニスでは、フォアハンドの基本的な打ちたを習得できる。 ・パドミントンでは、フォアストロークとバックスロークの基本的な打ち方を習得できる。 ・ソフトテニス、バドミントン共に、シングルスの記合のルールや進め方を理解できる。				
		4週	バレー	レーボール①				・バレーボールでは、オーバーハンドパス、アンダー ハンドパスの基礎技術を習得できる。 ・バレーボールの試合のルールや進め方を理解できる。				
		5週		テニス(バ 種目を決定)	候状態を考慮し	を習得・バド	・ソフトテニスでは、フォアハンドの基本的な打ちたを習得できる。 ・バドミントンでは、フォアストロークとバックストロークの基本的な打ち方を習得できる。 ・ソフトテニス、バドミントン共に、シングルスの記合のルールや進め方を理解できる。					
		6週	バレー	ベレーボール②				・バレーボールでは、オーバーハンドパス、アンダー ハンドパスの基礎技術を習得できる。 ・バレーボールの試合のルールや進め方を理解できる。				
		7週	ソフト: 、実施:	/フトテニス(バドミントン)③(天候 実施種目を決定)			候状態を考慮し	を習得 ・バド 打ち方 ・ソフ	・ソフトテニスでは、バックハンドの基本的な打ちを習得できる。 ・バドミントンでは、ドライブとヘアピンの基本的 打ち方を習得できる。 ・ソフトテニス、バドミントン共に、シングルスの 合のルールや進め方を理解できる。			
		8週	バレー	ドレーボール ③					・バレーボールでは、オーバーハンドパス、アンダーハンドパスの基礎技術を、実践の試合形式の中で使用することができる。 ・バレーボールの試合のルールや進め方を理解できる			
								0				

9週							1			
2ndq 10週			9週			・バドミントンでは、ドライブとヘアピンの基本的な 打ち方を習得できる。 ・ソフトテース、バドミントン共に、シングルスの試				
11回 素色の		2ndQ	10週	バレーボール	4)		・バレーボールでは、オーバーハンドパス、アンダー ハンドパスの基礎技術を、実践の試合形式の中で使用			
12回 水道の			11週	柔道①		・柔道の文化に触れ、理解することができる。 ・柔道の受身の動作や技術を理解し、身に付けること ができる。				
13週 韓日北下銀州の (国内・屋外種目の中から、天候状態 存入4人で行うことができる。			12週	柔道②		・柔道の文化に触れ、理解することができる。 ・柔道の受身の動作や技術を理解し、身に付けること				
148			13调	種目指定選択	①(屋内・屋外種目の中	・指定された種目について、チーム編成や試合進行等				
15回 本書画 (以来でする) がスムースに行うことができる 15回 本書画 (以来でする) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				種目指定選択の	②(屋内・屋外種目の中	・指定された種目について、チーム編成や試合進行等				
16週			15週	種目指定選択の	③(屋内・屋外種目の中	・指定された種目について、チーム編成や試合進行等				
1週 後期カイダンス・ストレッチ運動・集団行動		3rdQ	16週	で与恩し次足	<i>ን </i>	- NYT-VICII)CCN, (GØ				
1/スケットボール①			1週	後期ガイダン	ス・ストレッチ運動・集					
おけった まずった まずった			2週	バスケットボ・	− J レ ①		・バス 得する ・安全	ケットボールでは、 ことができる。 に配慮しながら、習	基礎的なドリブル技能を習 得した個人技能を生かしな	
3rdQ 4週			3週	卓球①			・卓球では、フォアハンドとバックハンドの基本的な 打ち方を習得できる。 ・シングルスの試合のルールと進め方を理解すること			
15週 卓球②			4週	バスケットボ-	-ル②		・バスケットボールでは、基礎的なパス技能を習得することができる。 ・安全に配慮しながら、習得した個人技能を生かしながら、チームワークを重視したプレーができる。			
後期			5週	卓球②			・シングルスの試合のルールと進め方を理解すること ができる。			
10週 卓球③ ・シングルスの試合のルールと進め方を理例ができる。			6週	バスケットボ・	ール③		・安全に配慮しながら、習得した個人技能を生かしな がら、チームワークを重視したブレーができる。			
8週	後期		7週	卓球③						
10週 柔道③		4thQ	8週	バスケットボ-	ール④		・バスケットボールでは、基礎的なシュート技能を習得することができる。 ・安全に配慮しながら、習得した個人技能を生かしながら、チームワークを重視したプレーができる。			
10週 柔道④ ・柔道の抑え技の動作や技術を理解し、身にとができる。			9週	柔道③		・柔道の文化に触れ、理解することができる。 ・柔道の抑え技の動作や技術を理解し、身に付けるこ とができる。				
4thQ 11週 柔道⑤ ・柔道の抑え技の動作や技術を理解し、身にとができる。			10週	柔道④		・柔道の文化に触れ、理解することができる。 ・柔道の抑え技の動作や技術を理解し、身に付けるこ とができる。				
12週			11週	柔道⑤			・柔道の文化に触れ、理解することができる。 ・柔道の抑え技の動作や技術を理解し、身に付けるこ とができる。			
13週 種目指定選択⑤ (屋内種目の中から、学生の学習状況 ・指定された種目について、チーム編成や語がスムースに行うことができる			12週			学生の学習状況	・指定された種目について、チーム編成や試合進行等 がスムースに行うことができる			
14週 種目指定選択⑥(屋内種目の中から、学生の学習状況、			13週	種目指定選択の	⑤(屋内種目の中から、	学生の学習状況	・指定された種目について、チーム編成や試合進行等			
15週 、課題を考慮し決定する)			14週	種目指定選択の	⑥(屋内種目の中から、	・指定された種目について、チーム編成や試合進行等				
頂側 16週 一 評価割合 運動技能・意欲 自主的継続的学習 安全管理行動 集団行動力 合計 総合評価割合 10 30 30 30 100 基礎的能力 5 30 30 30 95 専門的能力 5 0 0 0 5			15週	種目指定選択の		・指定 がスム	・指定された種目について、チーム編成や試合進行等 がスムースに行うことができる			
運動技能・意欲 自主的継続的学習 安全管理行動 集団行動力 合計 総合評価割合 10 30 30 30 100 基礎的能力 5 30 30 30 95 専門的能力 5 0 0 0 5			16週							
総合評価割合 10 30 30 30 100 基礎的能力 5 30 30 30 95 専門的能力 5 0 0 0 5	評価割合									
基礎的能力 5 30 30 30 95 専門的能力 5 0 0 0 5							.,.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
専門的能力 5 0 0 0 0 5										
分野横断的能力 0 0 0 0 0 0					-	1				
	分野横断的能力 0				0	[0		0	0	